

東北地方太平洋沖地震に伴う海底地殻変動

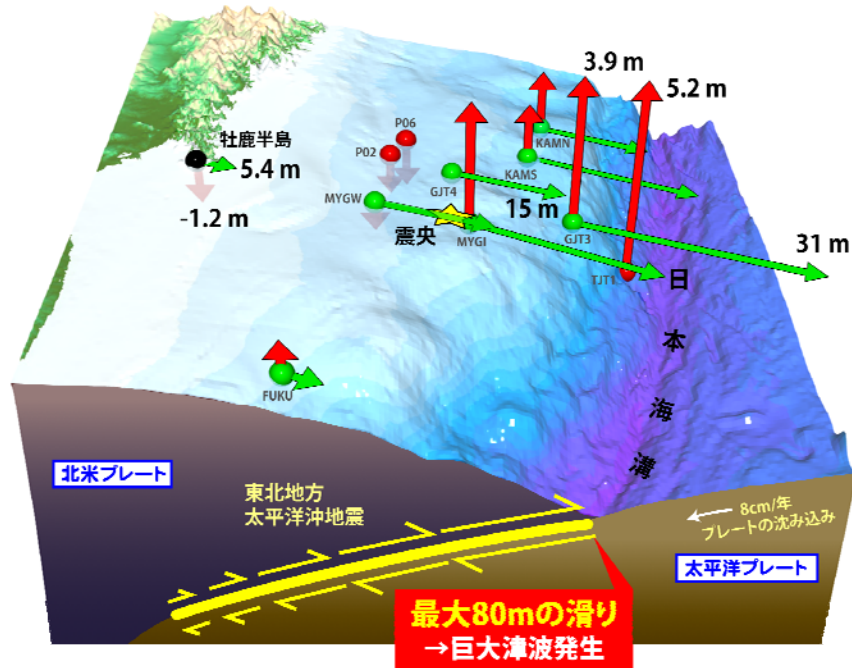


図 2. 東北地方太平洋沖地震の発生に伴った海底地殻変動量

黄星印は、本震の震央。緑丸が GPS 音響測位観測点、赤丸が海底圧力計（上下変動のみ）、黒丸が GEONET の牡鹿観測点を示す。緑矢印が水平成分、赤矢印が上下成分の変動量と向きを表している（観測点 GJT4 は水平成分のみ）。上下成分の矢印は水平成分の矢印の約 5 倍に強調して表示している。海底地形は上下方向に 2000 倍に拡大されている。海溝軸付近の観測点では、最大で東南東方向に 30 m、上方に 5 m を超える海底の変動量が観測された。

東北地方太平洋沖地震の津波生成域と強震動生成域

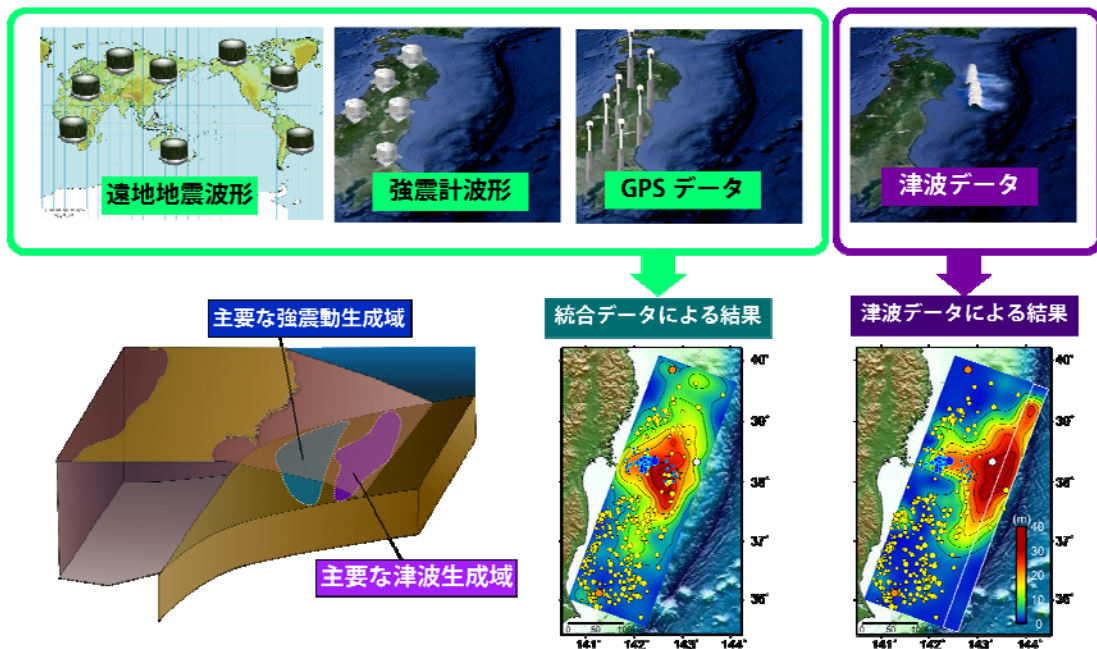


図 3. 東北地方太平洋沖地震の津波生成域と強震動生成域

下段左：プレート境界における強震動生成域と津波生成域のイメージ図。下段中央：遠地実体波記録，強震波形記録，及び GPS の 3 種類のデータを統合的に用いたインバージョンにより推定された本震時の滑り域。下段右：津波データに基づいて推定された本震時の滑り域。